

かわら版

相澤病院

医療連携

患者さんに
役立つちょっと
いい話



2024.1 NO.25

この度の地震により亡くなられた方々の
ご冥福をお祈りし、ご遺族の皆様にお悔やみ
を申し上げます。被災された皆様に心から
お見舞い申し上げます。

被害に遭われた皆様 心からお見舞い申し上げます

あけまして おめでとうございます。

2024 年は辰年ですが、本来の干支(えと)では 甲辰(きのえ・たつ)であり、成功につながるための努力が種子の内側でどんどん育っていく年とされています。

そのような新たな年の始まりである元旦に、石川県能登地方を震源とするマグニチュード 7.6 の令和6年 能登半島地震が発生し、今も余震が続いています。この地震は、石川県、富山県、新潟県などの広い範囲に亘る大災害を引き起こし、国を挙げての救援活動が行われています。このため、相澤病院 DMAT も出動いたしました。

また、翌日には羽田空港で、日航機と海保機が衝突し炎上しました。幸いなことに乗客ら 379 人は脱出できましたが、海保機乗員の5人はお亡くなりになりました。これら年始の災害・事故でお亡くなりになった方々には心からお悔やみを申し上げますとともに、災害を受けられた方々には、心からお見舞いを申し上げます。



未来のための第一歩を

大変な災害と事故にて始まった本年は、昨年に明らかとなった我が国の前に立ちはだかる社会・経済・政治、さらには外交など数々の障壁を乗り越えて、新たな日本を創るために断固たる一歩を踏み出さなければならない年であると思います。さもないと我が国の未来は大変厳しいものとなるでしょう。



社会医療法人財団 慈泉会
Emergency Medical Care and Holistic Care

相澤病院 相澤東病院 医療連携センター



医療介護の改革を推進することが必要な 2024 年

異次元の改革を進めようとする政府方針とも相まって、社会・経済・政治などを含めて世の中は激変する年になると思います。

当然、医療介護制度も大きく変わることになるでしょう。世の中の変化に見合う変化が出来なければ、医療介護は我が国の重要なインフラとしての機能を果たすことができません。



2023 年 相澤東病院 夏祭り



このためにも、従来の仕組みややり方の改善にとどまらない、抜本の変革が必須となります。

また、地方においては、医療介護がもはや主要産業の一つとなっている状況を認識しなければなりません。

安心できるコミュニティを創る産業としての医療介護は、今後の社会変革をけん引する可能性すら生じています。医療介護にはそれらを必要とする人にそれらを提供するという役割や、医療介護報酬に則って収益を確保して経営して継続を維持することがだけでなく、それ以上の社会的役割を果たすことが求められており、政府の政策に先んじて改革を推進することが必要となります。

2023 年 相澤病院 病院祭



龍の如く猛々しく挑戦を

慈泉会は、松本市が計画する集約連携型都市構造の中心拠点（中心市街地の都市機能誘導区域）における医療拠点として、相澤病院と相澤東病院、地域在宅医療支援センター、相澤健康センター、相澤健康スポーツ医科学センター、脳画像研究所などの施設・設備の整備と、医療介護連携による地域包括ケアシステムの構築を図ってきましたが、これからの時代に必要とされる機能をそれぞれの施設が明確にして強化するとともに、相互の情報共有と協働を充実させ、慈泉会全体でヘルスケア総合サービスを住民に提供したいと思います。

また、松本市中心拠点以外の周辺地域においては、医療介護サービスが不十分な分野における機能を担うため、施設整備と機能強化を進めてきましたが、地域事情が激変する中で必要とされることは大きく変わってきますので、地域事情をしっかりと把握し、必要な機能については積極的に整備・充実する方針で改革を進めたいと思います。

また、DX を国に先んじて積極的に推進することで、働き方改革を進め、これまでよりも短時間でより充実した仕事が楽にできるよう、皆さんと共に工夫しチャレンジしていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。いずれにしろ、本年は、龍の如く猛々しく、新しいことに挑戦し慈泉会の新たな未来を切り開く芽をしっかりと育てる年にしたいと思っております。

結びに、皆さんにとって本年が良い年であることを祈念し結びに、皆さんにとって本年が良い年であることを祈念し、年頭の挨拶とします。



2023 年 相澤東病院クリスマス会

2024 年 1 月 4 日（職員に向けた 2024 年相澤孝夫理事長年頭挨拶より）

＜2024 年「辰年」の豆知識＞

「辰」の原字は「蜃」。「蜃」は、二枚貝が開き、弾力性のある肉をピラピラと動かしているさまを描いたもので、「振」「震」の意味をもちます。『漢書 律曆志』では「動いて伸びる」「整う」の意味とし、草木が盛んに成長し形が整った状態を表すと解釈されています。

また、古代中国では竜が実在すると信じられ人々にとって身近な存在でありました。この竜の鳴き声は雷や嵐を呼び、天候など自然を支配する巨大な力を持つとされていました。このことから「竜巻」の語源にもなっています。このように神獣や霊獣のような権力の象徴として扱われ、天候をも支配する巨大な力から、辰年は時代を動かす「変革（転機）」や「激動」の年と呼ばれています。



相澤病院のビジョン 2024

相澤病院
田内克典院長

1. 救命救急センターとして、患者病態に応じた迅速で的確な救急医療を実践する。
2. がん診療連携拠点病院として、悪性腫瘍に対する手術治療から集学的治療まで、一連の質の高い医療サービスを提供する。
3. 基幹型病院として、長野県の医療計画に記載された医療、相澤病院の強みとする医療を充実・強化して、広域型医療を展開する。
4. 必要な疾患別リハビリテーションと入退院支援を行うことにより、患者の早期 社会復帰を促進する。
5. 患者と真摯に向き合い、最適な医療の提供に努め、継続して地域住民に選ばれる病院を目指す。
6. 職種間のコミュニケーションを良好にして、多職種協働による効果的なチーム 医療を推進する。
7. 相澤病院の職員としての使命感・倫理観を持って、職能を磨き、患者の視点に立って、適正で安全な医療を提供する。



相澤東病院のビジョン 2024

相澤東病院
宮田和信院長

1. 地域密着型病院として、広域型急性期病院（基幹病院）には入院するほどでない急性期患者に入院医療を提供することで、患者及び家族の負担を軽減する。
2. かかりつけ医との連携により、24 時間対応できる往診体制及び訪問診療体制を 構築すると共に、訪問看護ステーションとの連携により、24 時間対応できる 訪問看護の提供体制も確保する。
3. 生活機能障害の増悪や嚥下機能低下が見られる在宅療養患者に対し、入院による集中リハビリテーションを行うことで機能改善を図り、在宅療養生活の質の 維持を図る。
4. 相澤地域在宅医療支援センターおよび急性期医療を担う相澤病院との緊密な 連携・協働により、患者の在宅復帰のための入院医療を提供する。
5. 相澤病院・相澤地域在宅医療支援センターおよびかかりつけ医・介護保険施設 などの社会資源との緊密な連携による地域包括ケアシステムの構築を推進し、その中心的役割を担い高齢者の在宅医療を支える。
6. 職員一人一人が在宅療養支援に関わる専門職としての自覚と責任を持ち、 慈泉会内部での連携を強固なものとし、多職種が積極的に協働するチーム医療を基盤に、在宅療養患者に良質な医療を提供すると共に家族の介護負担を軽減する。

